

共通—第5号様式 見積参加者選考調書（特定随意契約用）

見積参加者選考調書（特定随意契約用）

調 達 件 名	生活支援ハウス事業運営業務（えみな）
発 注 課	保健福祉局高齢保健福祉部高齢福祉課
選 定 事 業 者	社会福祉法人共立いつくしみの会
随意契約の理由（相手方を特定した理由を含む。）	
<p>生活支援ハウスは、平成12年の介護保険制度の導入後、要介護認定で「自立」「要支援」と判定され、施設を退所する方の受け皿の必要性から、整備が進められたものである。</p> <p>運営は、国庫補助の採択要件に基づき、国と協議のうえ各法人に業務委託を決定したものであり、運営する者は、介護老人保健施設等を経営するものであって、適切な事業運営が確保できると認められるものとされ、生活支援ハウス運営事業実施要綱に4施設・4法人と規定している。また、当該施設の運営は、各法人所有の建物によって行われてる。</p> <p>このため、契約の相手方が限定されており、現在運営している4法人が適切に運営をしていることから、特定随意契約とする。</p>	
根拠法令	地方自治法施行令第167条の2第1項第2号（予定価格100万円超の場合に記入）
決 定 日	令和6年3月11日